

5 八 教 学 指 七 第 2283 号
令和 5 年 (2023 年) 10 月 12 日

八王子市議会議長
鈴木 玲央 殿

八王子市教育委員会
教育長 安間 英潮



「児童・生徒の登校支援」に関する提言について(回答)

令和 4 年 (2022 年) 10 月 12 日付 4 八議議発第 160 号により提言いただいたこのこと
について、下記のとおり回答します。

記

1 提言内容

「児童・生徒の登校支援～マンパワーと ICT の活用～」

- (1) スクールソーシャルワーカー (SSW) の体制強化
- (2) 児童・生徒の状況を適切かつ効率的に把握できるシステムの導入
- (3) オンライン登校支援プログラムの作成と学びの保障

2 回答

提言いただいた内容については、児童・生徒への登校支援のためには有益なものである
と考えます。

増加する本市の不登校児童・生徒への対応は、喫緊の課題であると捉えており、市で
は、令和 5 年 (2023 年) 3 月に改定しました「八王子市総合教育大綱」においては、施
策の一つに「生きる力を育む学校教育の推進」を掲げ、不登校など学校だけでは対応が
困難な課題に対して関係機関が連携して支援することとしております。

また、教育委員会は、令和 5 年 (2023 年) 6 月に市立小・中・義務教育学校における
不登校総合対策の令和 5 年度 (2023 年度) からの 5 か年計画として「つながるプラン」
を策定したところです。

その取組の一つとして、令和 5 年度 (2023 年度) からは、スクールソーシャルワーカー
を増員の上、1 名を統括担当として位置づけ、OJT を通してスクールソーシャルワー
カー一人ひとりの対応力の向上に取り組むなど、体制強化を図っております。

さらに、オンラインによる登校支援として、東京都の「バーチャル・ラーニング・プ
ラットフォーム (VLP)」事業を活用した支援を試行的に開始しております。

今後も、本提言を施策の参考にし、市及び教育委員会が連携し、不登校児童・生徒が
社会的に自立できることを目指して児童・生徒の登校支援を進めて参ります。